高知工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	ドイツ語

科目基礎情報

科目番号	1597	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	総合科学科	対象学年	5
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	教科書：ブーメラン・エルエー（朝日出版社）　参考書（必携）：独和辞典（「新アポロン独和辞典」（同学社）など、出版社はどこのものでも可）		
担当教員	塩見 由利		

到達目標

1.ドイツ語の文法の概要を把握する。
2.ドイツ語の簡単な会話をする力を身につける。
3.ドイツ語特有の単語の変化を理解し、辞書を使って簡単な文章が読める。
4. 英語とは異なる背景を持つドイツ語の言語文化に興味を持つ。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	ドイツ語文法の概要を把握し、語彙を入れ換えて応用できる。	ドイツ語の文法の概要を把握する。	ドイツ語の文法概要が理解できていない。
評価項目2	生活に必要な程度の語彙力が身につく。	基礎的な語彙力と挨拶表現などが身につく。	基本語彙が身についていない。
評価項目3	基本的文型から語彙を入れ換えて様々に作文をすることが出来る。	基礎的な作文力が身につく。	基礎的な作文において構造が理解が出来ていない。
評価項目4	自学で辞書を引き、児童文学程度の文章を読解できる。	教科書の例題を辞書を引いて読解できる。	文法を理解していないため辞書を引くことが出来ない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	ほとんどの学生が英語以外の外国語を学んだことがないでしょうが、国際化が進み、英語文化圏以外の外国や文化に触れることも多くなってきています。 英語以外の外国語を知ることで、視点も変わり、言語・文化に対する相対的な視野を得ることができます。ヨーロッパの中央に位置し、日本とも関係の深い ドイツの言葉と文化を学ぶことで新しい世界に目を向けてほしいと考えています。
授業の進め方・方法	おおむね教科書に従って、文法説明、音読、例題、講読、口頭設問などにより授業を進める。
注意点	試験の成績の85%、平素の学習状況等（課題・小テスト・レポートを含む）を15%の割合で総合的に評価する。学期毎の評価は中間と期末の各期間の評価の 平均、学年の評価は前学期と後学期の評価の平均とする。なお、通年科目における後学期中間の評価は前学期中間、前学期末、後学期中間の各期間の評価の 平均とする。到達目標に対する達成度を試験等において評価する。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	シラバス説明、基本挨拶表現、アルファベート、発音の規則	基本の挨拶とアルファベートを覚え、発音の規則を理解する。
		2週	人称代名詞、規則動詞の現在人称変化	人称代名詞を覚え、規則動詞の現在人称変化を理解する。
		3週	語順、ja,neinの使い方、haben とsein動詞	ドイツ語特有の語順の規則を理解し、habenとsein動詞の活用を覚える。
		4週	名詞の性、定冠詞と不定冠詞、複数形	名詞に性があることを理解し、定冠詞と不定冠詞のかたちを覚える。複数形の作り方を理解する。
		5週	名詞の格の用法	定冠詞、不定冠詞の格変化表を覚え、格の用法を理解する。
		6週	名詞の格の用法	様々な格の名詞の入った文章を読み、作文する。
		7週	不規則変化動詞（１）	基礎的な不規則変化動詞の変化表を覚え、作文する。
		8週	前期中間試験	教科書２課までの内容を理解する。
	2ndQ	9週	不規則変化動詞（２）	基本的な不規則変化動詞の変化表を覚え、作文する。
		10週	命令形	命令形の３つのかたちを理解し、作文する。
		11週	定冠詞類	定冠詞類の格変化を理解し、様々な定冠詞類を覚える。
		12週	不定冠詞類	不定冠詞類の格変化を理解し、様々な不定冠詞類を覚える。
		13週	指示代名詞、疑問代名詞	指示代名詞、疑問代名詞を理解し覚える。
		14週	人称代名詞	人称代名詞の３格、４格を覚える。
		15週	前置詞の格支配	様々な前置詞を覚え、格支配を理解して読解、作文する。
		16週	前期末試験	３～５課の内容を理解する。
後期	3rdQ	1週	話法の助動詞、未来形	助動詞の意味と人称活用、助動詞構文を理解し、読解作文できる
		2週	従属接続詞と副文	副文構造を理解し、基本的な従属接続詞を覚え、副文を含む文章を読解作文できる。

		3週	分離動詞	分離動詞の使い方を理解し、基本的な文章を読解作文できる。
		4週	再帰動詞	再帰動詞の特性を理解し、基本的な文章を読解作文できる。
		5週	非人称代名詞es	非人称代名詞esを含む基本的な文章を理解する。
		6週	形容詞の格変化	形容詞の格変化を理解し、表を見ながら文章を読解作文できる。
		7週	形容詞の格変化、形容詞の名詞化	形容詞の格変化表を見ながら文章を読解作文できる。形容詞の名詞化を理解し読解できる。
		8週	後期中間試験	６～７課の内容を理解する。
	4thQ	9週	動詞の３基本形	動詞の３基本形を理解し、基本的名不規則変化動詞の３基本形を覚える。
		10週	過去形	過去形の文章の作り方を理解し、基本的な文章を読解作文できる。
		11週	現在完了形	現在完了形の作り方を理解し、基本的な文章を読解作文できる。
		12週	定関係代名詞	定関係代名詞のかたちと使い方を覚える。それを含む文章を読解作文できる。
		13週	不定関係代名詞	不定関係代名詞のかたちと使い方を覚える。それを含む文章を読解作文できる。
		14週	比較級、最上級	形容詞・副詞の比較級、最上級の作り方、使い方を理解し、それを含む文章を読解作文できる。
		15週	補足文法	現在分詞、zu不定詞の概要を理解し、簡単な文章を読む。
		16週	学年末試験	８～１０課の内容を理解する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	

評価割合

	試験	その他	合計
総合評価割合	85	15	100
基礎的能力	85	15	100